オブジェクト指向プログラミング

OO編 第4回

ポリモーフィズムを利用した 完全なデータ抽象

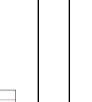
- 目的
- ポリモーフィズムの仕組みと利点欠点を理解する
- キーワード
 - ポリモーフィズム, 継承, インターフェイス

違う型に代入できる

+ display() : void

+ display() : void

- 今まで
 - -Ax1 = new A();
 - -B x2 = new B();
 - C x3 = new C();
- ポリモーフィズム
 - -Ax1 = new B();
 - -Ax2 = new C();



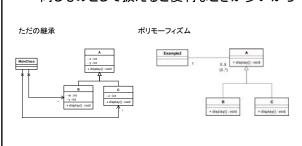
なぜできるか

+ display() : void

- Super x = Sub();
- サブクラスのインスタン スならメソッド、属性呼 び出しが保証できるから
 - ex
 - Super x = Sub();
 - x.display();
- 練習問題1
 - サブクラスのメソッド 優先

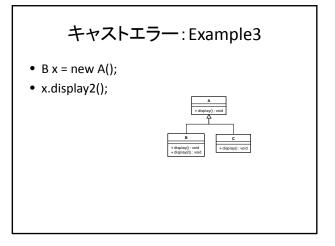
なぜそんなことが必要か

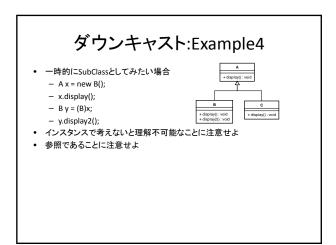
• 同じものとして扱えると便利なときが多いから

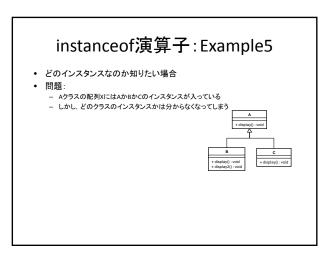


同じ配列に入れられる

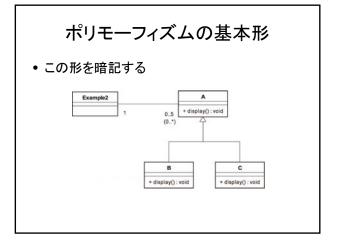
・OK - Super x = Super(); - Sub x = Sub(); - Super x = Sub(); - Super x = Sub(); • NG - Sub x1 = Super();

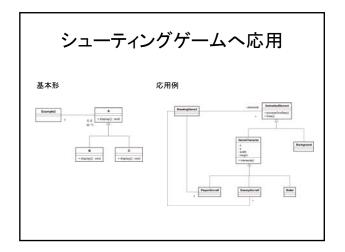


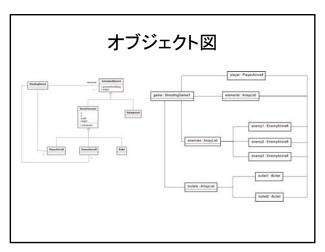








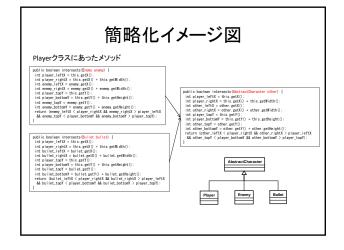


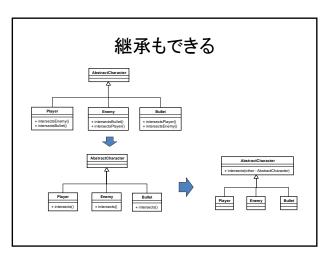


描画のプログラムが簡単 • private void processOneStep(BCanvas canvas){ for(int i=0; i < elementSize; i++){ elements[i].processOneStep(canvas); } }

あたり判定のプログラムが簡単

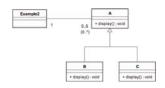
- 今までの方法
 - intersectsPlayer(),intersectsEnemy(), intersectsBullet()を別々に作っていた
 - クラスが増えるたびに
- ポリモーフィズムを使えば
 - intersects(ShootingCharacter x)
 - で, (サブクラスなら)何が来ても, あたり判定が 出来る





ポリモーフィズムの基本形

• この形を暗記する



- ・Aはインターフェイスとしての役割を持つ ・サブクラスによって振る舞いが変わる=多態性 ・目的と手段の関係(HCPチャートに関係) ・意味的にはげ文と等価→if文を排除できる

練習問題:時計の設計を考える

考察

- 機能継承は多用するな!
- ポリモ/合成による設計をつかえ!

